

第2回学校評議員会まとめ

令和3年3月12日(金)

校長室にて

【学校評議員からの質問・意見等】

今、学校は楽しい。と答えている児童が、9割を超えていることはいいこと。

- ・「あまりそうおもわない。」と答えている児童が2名いた。この2名が、なぜ楽しいと思えないのかを考えていくことで、より良い学校改善の方向性が見えてくるのではないか。

コロナ禍で行事における参加保護者の人数制限を工夫して実践されている。

- ・保護者から「人数制限を守っていない方がいるので徹底してほしい。」という意見があり学校側で取り締まるのは難しいと判断し、一家族に一人の参加の場合受付でシールを付けるようにした。事前にお知らせをすることで当日は混乱もなく違反者もいなかった。

アンケート項目はあまり変えないほうがいいのではないか？

- ・ポイントをあげるために変えるのではなく、児童が頑張っていることや努力していることが結果として見えてくるような内容にしていきたいと考えている。ただ、経年比較ができない、ポイントを上げるためだけのアンケートにならないよう気を付けていく。

学校だよりやHPの内容であいさつ王の記事がよかった、日頃の学校生活が見える。

- ・HPには、日常の子どもたちの様子や頑張っている姿をのせるようにしている。学校だよりでも、学校生活で感動した場面や感心した場面をできるだけのせるようにしている。

「難しいことでもできるように頑張る」をどのように周知させてきたか。

- ・校長の話の中には、入学式から卒業式まで一貫してこの言葉を意識して取り入れてきた。学校だよりや行事の度にも話をし、子どもたちには難しいことでも頑張るが意識されている。

先生に厳しい言葉を言われて学校に行けなくなった児童がいると聞いたが本当か？

- ・事実である。ただ当該児童は現在元気に登校している。学校と保護者と十分に話をし、行き過ぎた点を謝罪するとともに、保護者の怒りや心配・不安な気持ちを受け止め、今後の方針として学校組織で対応していくことを伝えた。(教委報告済み)